

令和5年度第8回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和5年11月7日（火）13：30～14：47 教授会室

出席者： 井手理事長（議長）、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、
須戸環境科学研究院長、山根先端工学研究院長、森下人間文化化学研究院長、
古株人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、
市川人間文化化学部長、伊丹人間看護学部長、澤野事務局次長、
森委員、矢吹委員

欠席者： 遠山委員

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、
郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、
古澤高等専門学校開設準備室長補佐、前田課長補佐、高谷主査

第7回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

議 題

審議事項

1 公立大学法人滋賀県立大学教員選考規程の改正について

山田総務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

[主な意見・質疑等]

- ・戦略的人事を行う際には、理事長が教員人事の着手そのものを指示するという意味か。その場合、第7条から第9条も条文の整理が必要ではないか。
→その認識でよい。規程改正については、現規程を活かしつつ、最小限度の条文の追加で対応しようとしたもので、理解願いたい。
- ・研究院長に直接、理事長から着手要請が行われる人事は、教育研究組織に配属されない人事になるのか。具体的な例や想定していることを教えてほしい。
→現時点で具体的な想定はない。次期中期計画期間中には学部学科等の再編が予定されており、再編の際に、教育研究組織の長の要請を待たず、理事長判断で着手指示を出せるようにという意図で今回の改正を行うものである。再編を考えた場合、そもそも教員人事要請を行う学部学科がないというケースも考えられる。
- ・今回の戦略的人事について、以前は、学長管理枠があったが、学長管理枠内で行うものなのか、それとも現存の学部学科の定員を移すことで行うものなのか。
→いずれも考えられる。教教分離によって、教員定員は全学で1つとなっている。名目上、現行の学部学科に定員があるようになっているが、その学部学科そのものを再編していくことになる。学長管理枠については、中長期的な人事を行う際に必要な枠であるため、もう一度確保していかなければならないと考えている。
- ・学部が考えている人事着手と戦略的人事による着手の間で齟齬は生じないのか。
→戦略的人事は、再編後の学部学科の人事のために行うものである。
- ・教員は一組織にしか配置されないのか、複数の組織の可能性もあるのか。
→複数の教育研究組織の担当（配置・兼務）の可能性はあり得る。

報告事項

- 1 滋賀県立高等専門学校施設整備事業に係る入札公告について
古澤高等専門学校開設準備室長補佐から資料に基づき報告があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・本日の内容を学部内に伝える際は、どの範囲まで伝えてかまわないのか。→審査基準の部分については11月21日予定の入札公告が行われるまでは公表しないでいただきたい。それ以外の概要については積極的に説明してほしい。

- 2 滋賀県立の高等専門学校開校に向けた開校準備教員の公募について
古澤高等専門学校開設準備室長補佐から資料に基づき報告があった。
[主な意見・質疑等]
 - ・県立大学と高専の教員の兼務はありえるのか。→お互い協力し合えるところは協力していきたいが、高専と大学間での本格的な兼務は難しいと考えている。
 - ・高専の認知度の低さが気になる。→認知度が低いことについては、県とともにしっかり取り組んでいきたい。特に高専入学対象者となる現在の小学校高学年の児童、保護者や中学校教員に対して、高専への進学を勧めていきたい。
 - ・保護者や学校教員等から高専に関する質問を受けることがあり、高専から県立大学への編入について関心の高さを感じている。編入が可能であることを発信することが、高専をアピールするとともに、県立大学の良さをアピールする良い機会になるのでは。→高専卒業生の本学への接続（3年次編入）については、すでに関係学科に受け入れ体制の検討をお願いしている。ただ、高専卒業生は人気であるため、本学への編入がどれほどあるかは未知数である。

- 3 令和6年度入学者選抜試験の日程について
郡田教務課長から資料に基づき報告があった。

- 4 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 令和5年度第7回衛生委員会
 - (2) 令和5年度第2回教務委員会
 - (3) 令和5年度第5回国際交流委員会
 - (4) 令和5年度第5回全学共通教育推進機構共通教育運営会議[主な意見・質疑等]
 - ・共通教育運営会議の結果概要における高校生先取り履修提供科目については、県教育委員会の依頼があって実施したという経緯があるが、欠席者が多い等の問題点がある。今後も継続するのか。→令和6年度については対象の高校を広げて実施することとするが、令和7年度以降については、継続する意義があるのか検討していく。

その他

- 1 第29回湖風祭の結果概要について
川分学生・就職支援課長から資料に基づき報告があった。